

# 33カ国から71団体参加 あすからNGOサミット

# 岡山を国際貢献の拠点に

難民救援活動などに当たっている世界三十三カ国、七十一団体のNGO（非政府組織）が集い、民間からの国際貢献の在り方などを模索する「おおかやま国際貢献NGOサミット」（国際貢献トリア岡山構想を推進する会など主催）が二十日、岡山市をメイン会場に一週間の日程で開幕する。岡山をNGOの拠点にしようと、毎年岡山での開催を提唱。第一回の今年のテーマは、緊急救援医療。岡山の地域おこしも視点に入れた今サミットをめぐる、状況や意意などについて探った。

## 背景

冷戦の終結に伴い、世界各地で民族・局地紛争が多発。続出する難民や被災民の救援といった国際貢献に各国が競うようになりつつある。特に日本では、湾岸戦争の際に金銭面の拠出が主となったため、国際的な評価が低かったこともあり、何らかの人的貢献の必要性が議論されるようになった。

しかし、自衛隊派遣の是非もからみ政府レベルでの対応は遅れ気味。今年発生したアフリカのルワンダ難民問題でも、いち早く現地へ駆け付けたのはNGOだ

## 初回テーマに 緊急救援医療



# 連携の強化を図る

岡山市に本部を置くNGO（AMD A）も五月から医師連携協議会、師を派遣。その後、カトリック教会内の福祉団体などを熟知している現地住民

## 毎年開催提唱

ども加えて「ルワンダ難民救援グループ」を結成、難民キャンプに診療所を設けて医療活動を行っている。さまざまな制約で緊急の対応ができない政府に代わって、NGOの役割がますます重要になっている。

## 目的

サミットの大きな狙いは、国内外のNGOのネットワークづくり。海外で緊急救援活動を行う

の協力なくしては、有効な活動が行えない。このため今サミットでは、海外からそれぞれの国内で医療、環境保護、教育などの援助活動を行うNGOを中心に招き、今後の援助活動での連携を図る。

ネットワーカーの中心に据えて世界の国際貢献の拠点とする一助の国際貢献とす。海外参加者をホームステイで受け入れるほか、分科会となる「サテライト会議」を開催。倉敷市、津山市、加茂川町など計六カ所で行われる。岡山を民間貢献の拠点として、地域住民らと参加者との触れ合いも深めて、地域づくりにも役立

## 広がる輪

AMD Aの呼び掛けで今年一月、「国際貢献トリア岡山構想を推進する会」（谷口澄夫会長）をつくり役立てたい」として、海外交流・援助団

話している。AMD Aの菅茂代表は「医療や教育に熱心な岡山の精神風土は、国際貢献の拠点としての条件に合致する。サミットを毎年開催して、その基盤を固めていく」と話している。

ルワンダ難民を診察するAMD Aの医師。国際貢献のネットワークづくりが今サミットの大きな狙い。9月、アフリカ・サイールのコマ地区難民キャンプ